

夢洲

YUMESHIMA ISLAND

大阪湾 OSAKA BAY

棲・住・労働・遊

環境共生循環型都市

ECOLOGICAL

URBAN SEA RESORT

CITY PROJECT

2001

LEGEND

- 名神高速道
- 中国自動車道
- 近畿自動車道
- 阪神高速道
- 阪和自動車道
- J R
- 阪急電鉄
- 近畿日本鉄道
- 京阪電鉄
- 阪神電鉄
- 南海電鉄
- 地下鉄

京都
KYOTO



1) 始めに

夢洲・ゆめしまは、昭和60年から埋め立てられている人工島です。大阪市の西端に当たる大阪湾上の島です。現在埋め立ての進む島からは大阪市街地の発展状況とともに、大阪湾の持つ自然の魅力が静かに伝わってきます。また、大阪市中心部への近接性は都市生活の利便性を意味しています。従来のおおさか市街地が持ちえていない魅力を、新しい都市機能として計画的に実現できる場所と言えます。

本計画は、水深15mの最重要なコンテナ基地を中心とする流通機能と共に、ウォーターフロントとしての夢洲が持つ潜在的可能性を引き出し、人が住み、働き、遊び、楽しむ街の構成を提言するものです。

現在社会環境は、急激に変化しています。環境共生・循環型社会の構築、高度技術社会の到来、少子高齢化の克服、より開かれた国際化社会の形成が求められています。ヒューマンメディアという視点のもとに、「人の循環」・「情報の循環」・「デザインの循環」を主軸にした高度環境共生社会を形成し、「自然の循環」・「エネルギーの循環」・「物の循環」を果たさなければなりません。そのためには、固定的に都市を捉えずに“都市編集＝都市を時代に応じて編集する”考え方が必要です。現在日本においては都市の将来にわたる時間概念が乏しいと考えられます。地球環境問題のように、未来に対する悲観的な要素が大きな比重を持っている現在こそ、未来に対する責任を探らねばなりません。基本的な都市構造を200年を射程に明確に構成する意思が必要であると考えます。

こうした時代にあって、新たに生まれる都市は、以下の8つの理念をインフラストラクチャーとして受け止める必要があります。①市民の理念、②文化の理念、③福祉の理念、④地域環境の理念、⑤地球環境の理念、⑥危機管理の理念、⑦情報管理の理念、⑧財政の理念です。本計画においては、これらの理念が反映される基本的都市構成を提案とします。

2) “URBAN SEA RESORT TOWN” 基本方針

夢洲・ゆめしまは、世界でも例のない大都市中心部より近距離にある海洋都市となります。ウォーターフロントの持つ魅力を最大限に引出し、海洋自然を実感満喫できる町の形成です。つまり“アーバン・シー・リゾート・タウン”を都市構造として体現する必要があります。例えて言えば、大阪夢洲に先端技術社会としてのシリコンバレーを、また、商・住・遊を兼ね備えたロサンジェルスやサンタモニカ、マリナデルレイを生み出すことです。生活をエンジョイし同時にノーネクタイでも先端的仕事ができる街の骨格

を創ることです。生活と労働の喜びが実感できる、訪問者にとっても楽しい夢洲・ゆめしまのまちづくりを提案します。

- ① 夢洲の持っている良好な街を生み出す可能性を最大限引き出す。東西南北それぞれの地域・方向が持っている良好な文脈を探る。また中心部においては中心核の形成と外延部との自然な連続性を探り、島全体の文脈を生み出す。
- ② 住・商・業務地区を一体として、南・北・西で海辺と接する回遊性の高い、多機能アメニティ性の高い都市形成を図る。——URBAN SEA RESORT TOWN
- ③ コンテナ埠頭を中心とする流通業務地区と、住宅地を中心とする商業業務地区を完全に動線分離する。
- ④ 中心性を有する第1の都市核である夢洲駅は位置的に東に偏心している。都市重心位置に商業施設に囲まれた湖として第2の都市核を生み出しバランスをとる。
- ⑤ GREEN BARRIERと名付けた幅50mの干渉緑地帯を3箇所設ける。1；居住地区と流通業務地区との分離を行う。2；埋め立て手法の違いに伴う地盤界が存在することによる都市構成のずれを補正する。いずれも、防風林、防音林、あるいはヒートアイランド防止、自然緑地再現といった役割を担う。

3) 前提条件

- ① 大阪市西端大阪湾に位置する。
- ② 現在造成中である。舞洲（スポーツアイランド）、咲島（南港）、新島と結ばれる。舞洲（スポーツアイランド）と結ぶ橋は完成している。咲島（南港）と結ぶ鉄道と自動車用トンネルは着工している。テクノポート線のルートと駅の位置は決定している。3つの島を結ぶルートの島内街路位置も決定している。東に、水深15mの大阪港最深コンテナ埠頭が生み出される。トラックによる交通の量と質が住宅レベルと対極にある。島は、造成手法により東西で施設配置内容が異なる。また西端には人工海浜エコポートが設置される。
- ③ “夢洲”が場所として持っている潜在的能力。
 - A) 眺望：360度の眺望が得られる。大阪市内で唯一地球が丸いと感じられる島である。東に大阪湾岸部越しに大阪市中心部を見る。北に舞洲越しに六甲山、阪神間住宅地を見る。西方向は大阪湾に開かれ明石架橋、淡路島を見る。南は新島越しに大阪湾南部を見ることとなる。



2001年10月25日 WTCより計画地を望む

- A) 1 しに大阪市中心部を見る。北に舞洲越しに六甲山、阪神間住宅地を見る。西方向は大阪湾に開かれ明石架橋、淡路島を見る。南は新島越しに大阪湾南部を見ることとなる。
- B) 海浜リゾート型都市形成：人工海浜エコポートを中心として海浜リゾート型都市の形成が可能である。
- C) 交通至便性：大阪市内中心部から地下鉄で30分以内で到着できる良好な新規住宅地が形成できる。大阪市中心部より約20-25分、新大阪駅まで約45-50分で鉄道によりアクセスできる。阪神高速湾岸線利用により関西空港まで約30分でアクセスできる。ユニバーサルスタジオとも約20-25分程度である。コスモスクエア地区、大阪港とは約10分で結ばれる。
- D) 集客性：現在コスモスクエア地区には年間900万人が訪れている。また年間1000万人を超える集客力のユニバーサルスタジオとも結ばれるので相乗効果が期待される。又舞洲地区スポーツアイランドとも連繫する。

4) 理念の反映

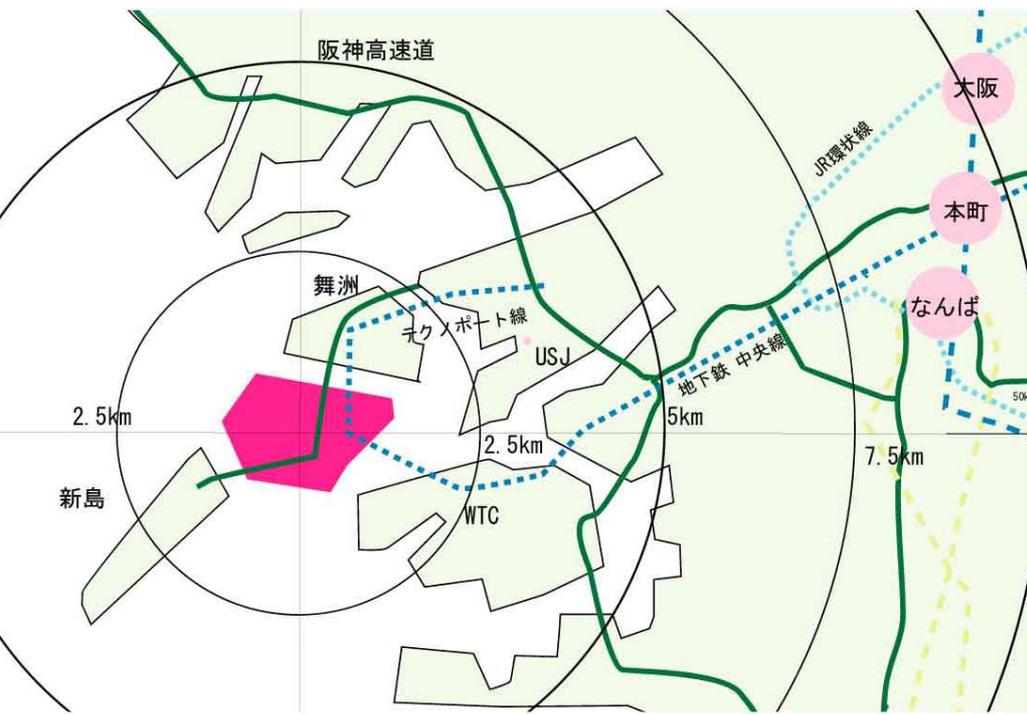
- ① 市民の理念：住み、働き、遊べるまちとする。地球市民。国際社会に開かれた社会形成を考える。市民参加型地縁的地域社会の育成を図る。生涯学習のためのアメニティ性の高い図書館やマルチメディア対応型のコミュニティセンターを設置する。また先端技術の進化に即した変化を受け止める市民サービスを行う環境の形成を図る。国際学校や全寮制教育施設のような高度教育機関を生み出す。24時間海と共にある生活環境を通じて都市生活の楽しさが実感出来る都市を形成する。
- ② 福祉の理念：ヒューマンスケールの町とする。ユニバーサルな都市を創る。歩行者、自転車ネットワーク優先型の都市。段差のない都市。高齢者を始め誰もが安心して住める町。健康保健施設・老人施設の充実を図る。病院設置を考慮する。福祉志向のバスのネットワークを充実する。又、子育て環境充実のための保育所等を配置する。
- ③ 文化の理念：豊かな自然環境を実感できる環境づくりを図る。都市中心核としての夢洲湖、湖に始まるリバーサイドウォーク、2つの緩やかな低い樹木に囲まれた丘、3つの直線状緑地、ヨットハーバー、海浜緑地。これらが豊かな人々に安らぎをもたらす文化的環境の基本となる。また具体的な地域の文化活動を支える屋内屋外双方の文化施設の充実が求められる。アーティストインレジデンスのような芸術家滞在型の施設を作る。町に芸術の香りを生む。同時に芸術が生み出す経済的効果も長期的視野に

入れる。大阪にかつて存在した商家の移転あるいは新規形成を行い歴史性を獲得する。リゾート施設利用者等の非居住者への配慮も行い集客都市としての充実を行う。

- ④ 地域環境の理念：良好な都市景観を各地区の潜在的可能性に合わせて形成する。東西軸を10度北に傾けた直行グリッドを基本とする街区形成を行う。200Mを単位とする車交通ブロックと100Mを単位とする歩行者ブロックを基本として街区の売却自由度(1ha-4ha)を念頭に置いた街区構成とする。又、地下鉄予定線の上にニューヨークのブロードウェイの役割を与え、都市回遊を促進する街路とする。地区内におけるオリエンテーションが明確なサイン計画を行う。住、商、業務、遊の機能複合による熟成型都市形成を目指す。認知しやすく活動容易な都市を目指す。同時に200年の存続を想定した都市インフラを内包させる。
- ⑤ 地球環境の理念：環境共生・循環型社会を計画に取り込む。自然循環、エネルギー循環、モノ循環をハイブリッドに捉え、図る。温暖化防止のための新エネルギー利用、省エネルギー型都市の構築。省資源を目指す、サービス重視型ライフスタイルの構築。ゼロエミッションを目指し人工物再資源化システムを構築する。緑地形成によるCO2固定・自然再現。食糧の1部自給を目指す自然農地および水耕農法農業施設設置。“バイオスフィア大阪”として閉鎖循環型自然環境研究教育施設を設ける。
- ⑥ 危機管理の理念：地震を始めとする自然災害、地球環境問題悪化に伴う気象異変、社会環境の変化等が予測される。人為的災害についてもテロや犯罪行為をも念頭におく。非常時に対応する危機管理施設の充実をはかる。又コンテナ基地と居住施設が共存することによる環境阻害を克服する配慮を行う。危険性に対する予防的配慮と対応的施設を形成する。又緊急時用のヘリポートを設置する。
- ⑦ 情報管理の理念：高速ブロードバンドを全施設に投入。新規施設の需要にこたえる。ベンチャー企業から大規模企業、住宅にいたるまで国際IT環境と同レベルとする。教育・管理システムの充実を同時に図る。マルチメディアからヒューマンメディアへ実践する。
- ⑧ 財政の理念：長期的広域的視野に立つ税収入を考える。定住者+来訪者が長期的に増幅する都市を目指す。PFI、あるいは証券化のような行政と民間のハイブリッドな手法を利用する。



WTC43 階より計画地を望む (アーバン シー リゾート タウン完成予想図)

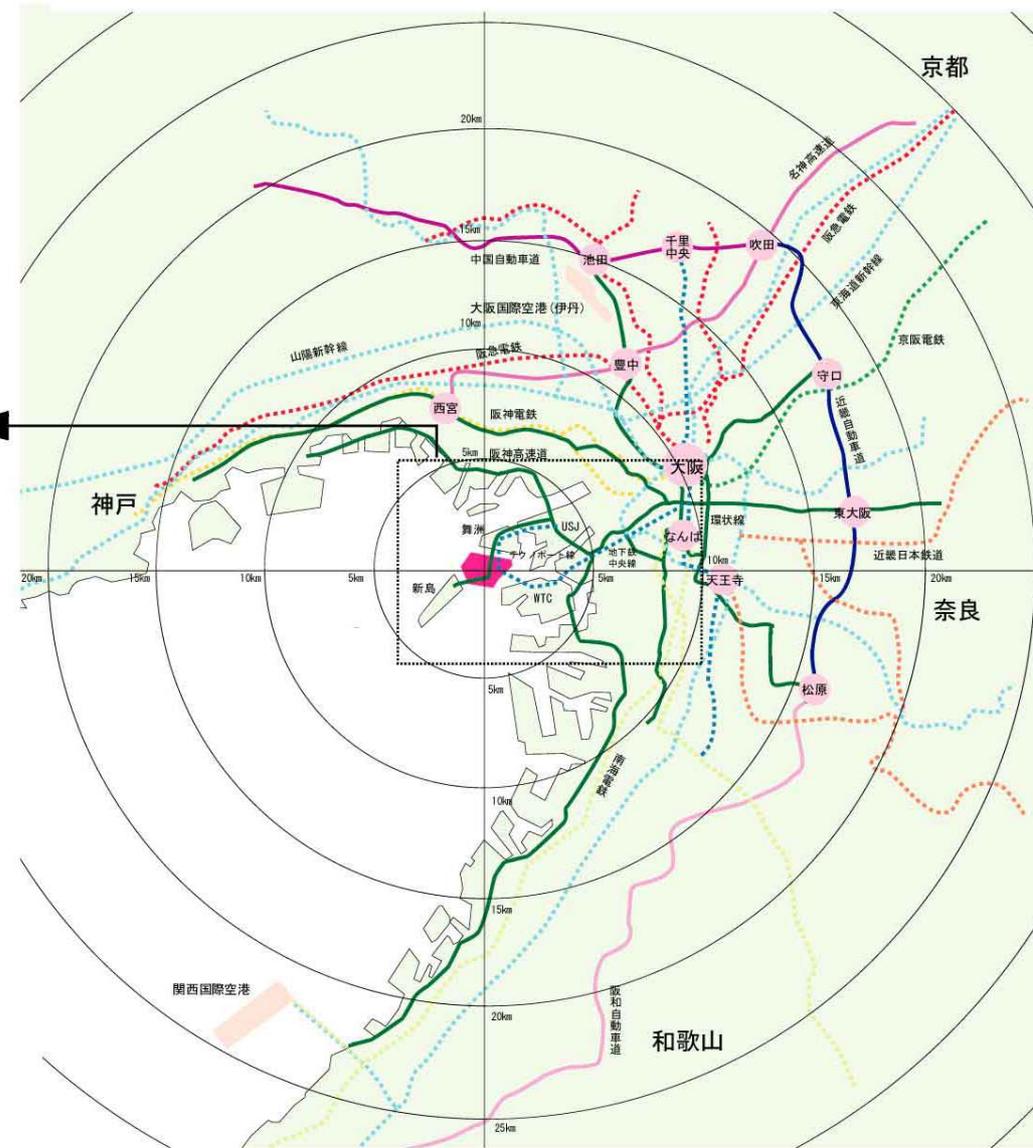


中域図
S=1/75,000



LEGEND

- | | | | |
|--------|--------|--------|------|
| 名神高速道 | 阪神高速道 | JR | 京阪電鉄 |
| 中国自動車道 | 阪和自動車道 | 阪急電鉄 | 阪神電鉄 |
| 近畿自動車道 | | 近畿日本鉄道 | 南海電鉄 |
| | | | 地下鉄 |



広域図
S=1/250,000





↑ 北野・六甲阪神間居住地を望む



↑ 夢洲一舞島



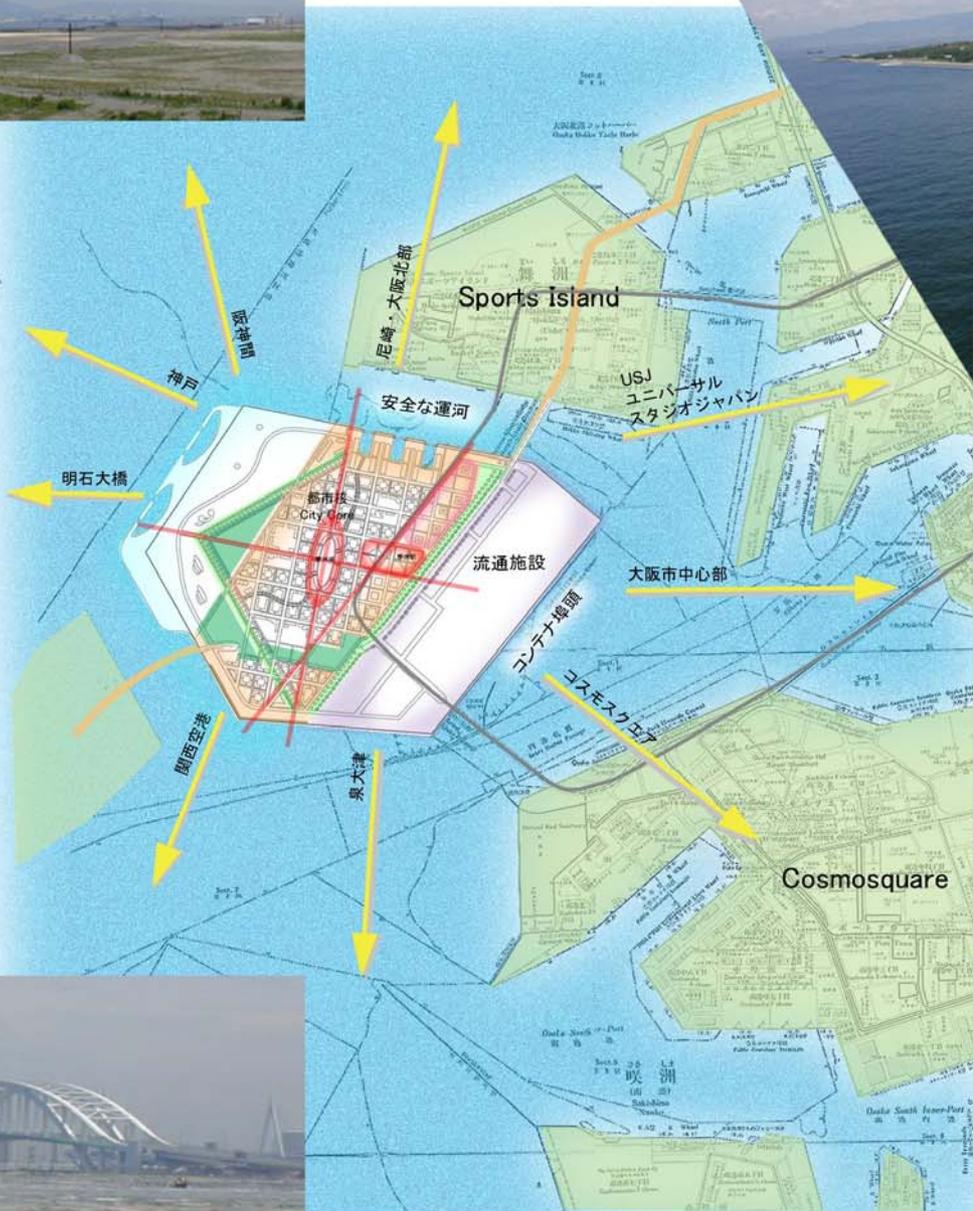
↑ 南港を望む



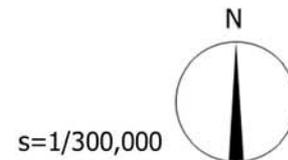
↑ 舞島一夢洲間の幹線街路「夢舞大橋」



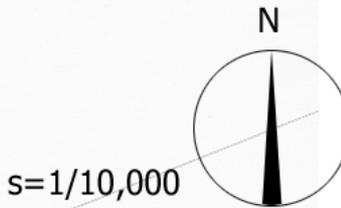
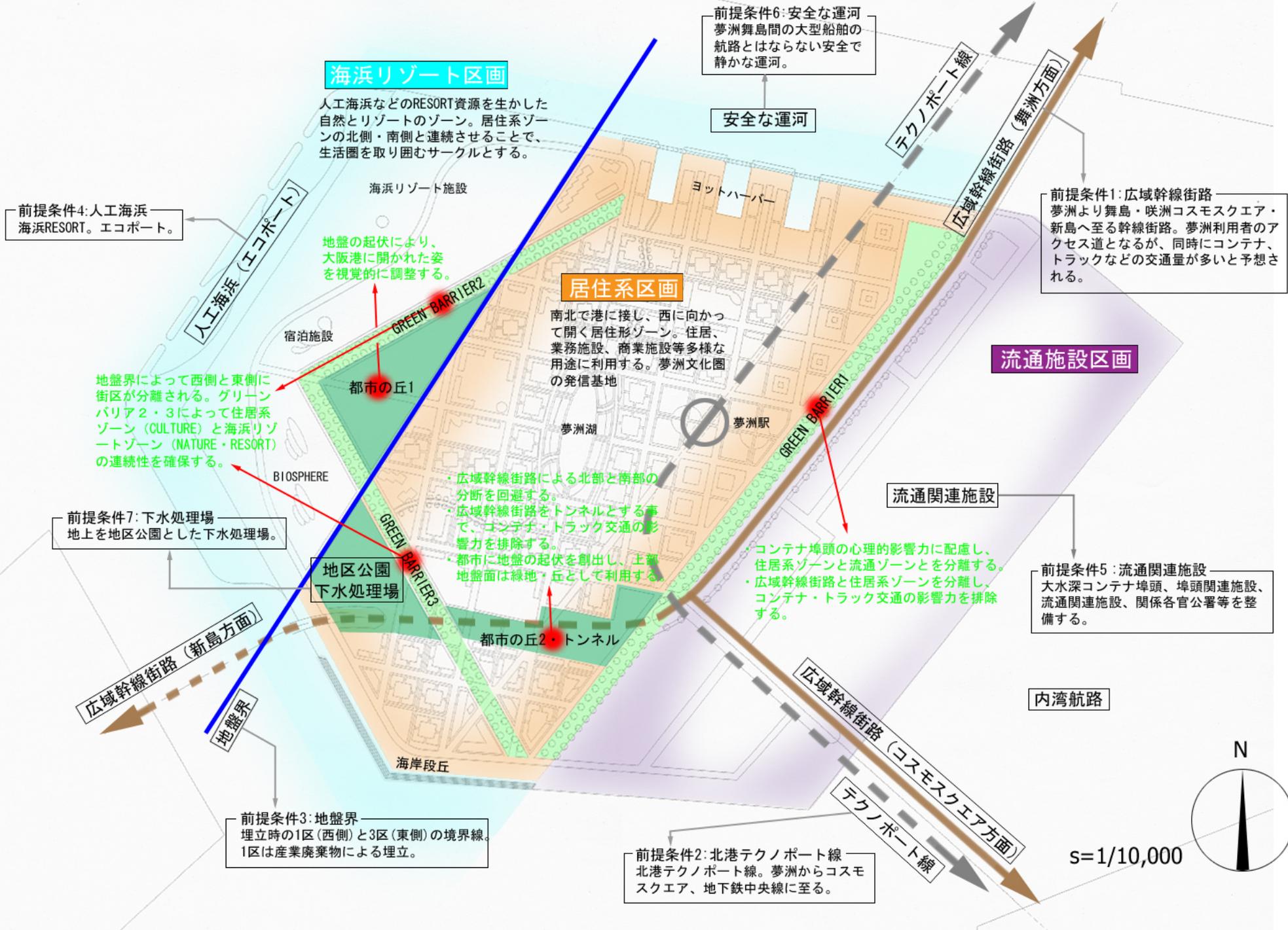
↑ 舞島の西端部を望む



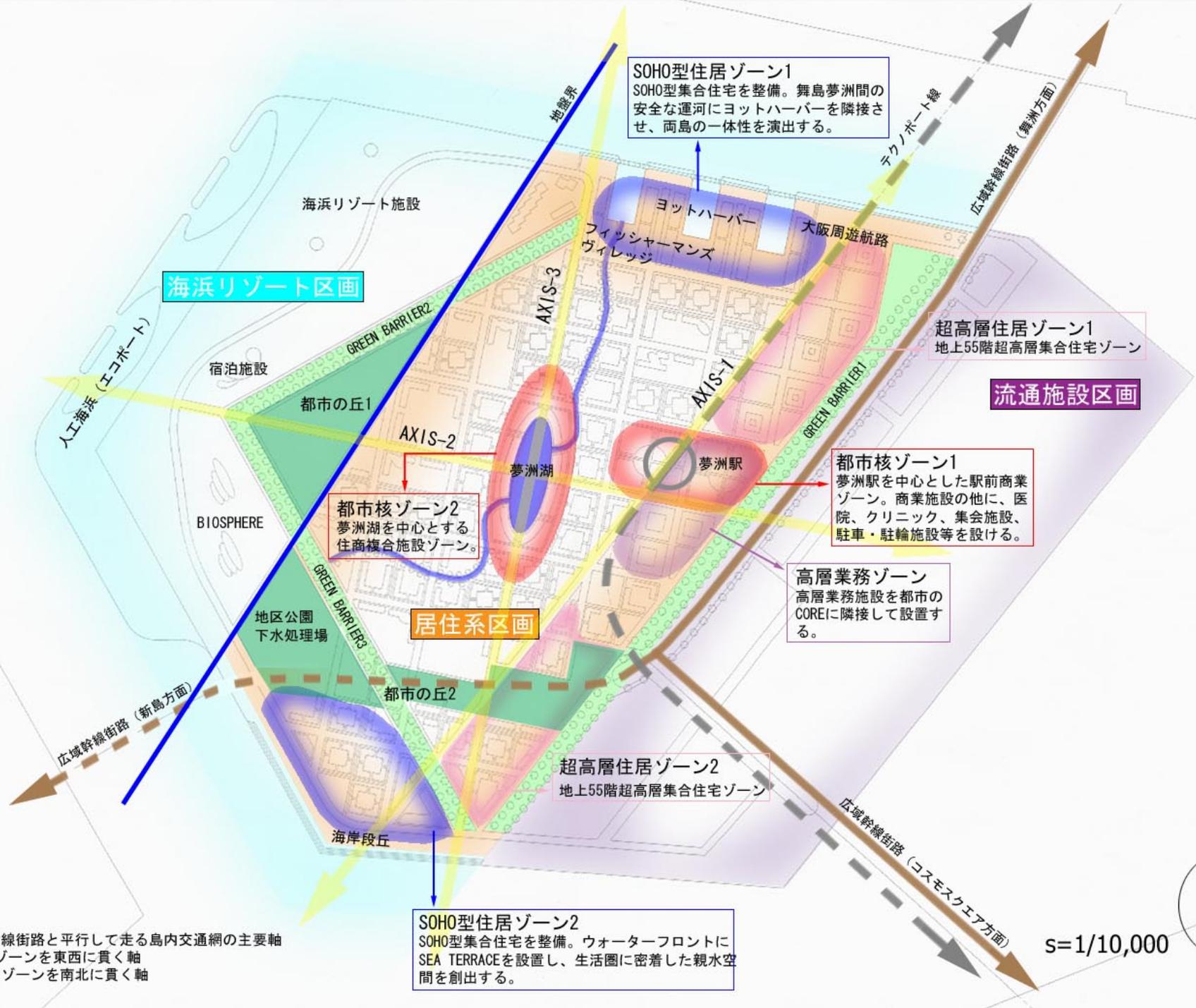
↑ コスモスクエアを望む



3. 前提条件と都市構造



4. ゾーニング図



AXIS1: 広域幹線街路と平行して走る島内交通網の主要軸
 AXIS2: 主要3ゾーンを東西に貫く軸
 AXIS3: 居住系ゾーンを南北に貫く軸

SOHO型住居ゾーン2
 SOHO型集合住宅を整備。ウォーターフロントにSEA TERRACEを設置し、生活圏に密着した親水空間を創出する。

SOHO型住居ゾーン1
 SOHO型集合住宅を整備。舞島夢洲間の安全な運河にヨットハーバーを隣接させ、両島の一体性を演出する。

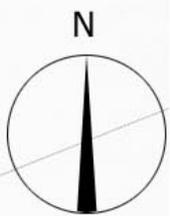
超高層住居ゾーン1
 地上55階超高層集合住宅ゾーン

都市核ゾーン1
 夢洲駅を中心とした駅前商業ゾーン。商業施設の他に、医院、クリニック、集会施設、駐車・駐輪施設等を設ける。

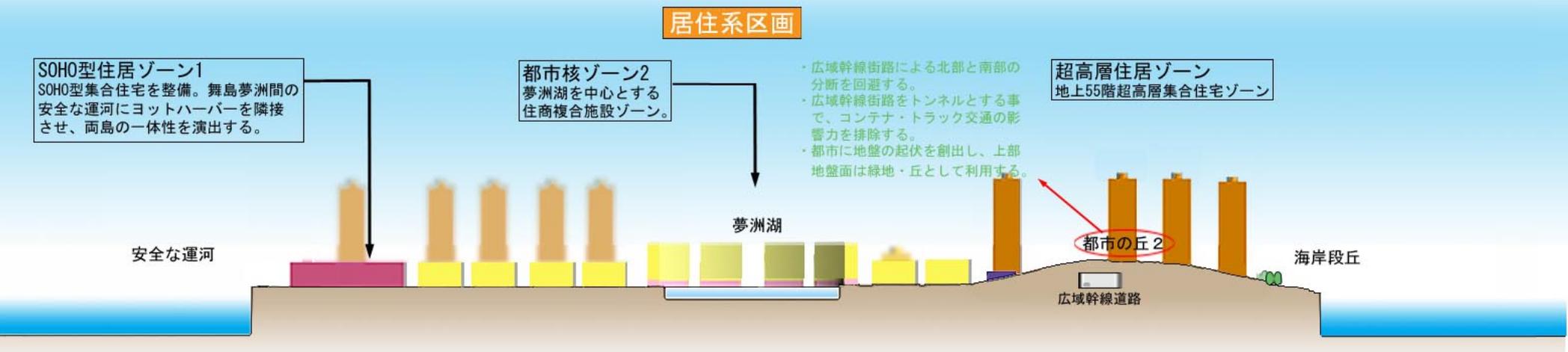
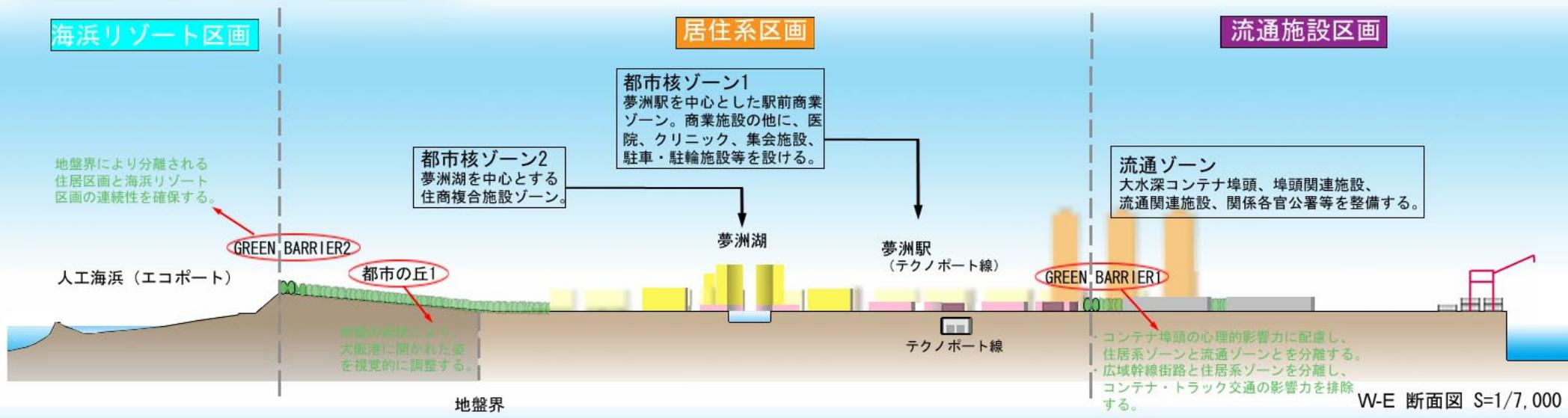
高層業務ゾーン
 高層業務施設を都市のCOREに隣接して設置する。

超高層住居ゾーン2
 地上55階超高層集合住宅ゾーン

s=1/10,000



5. ゾーニング図(断面図)



6. ゾーニング図（各ゾーンイメージ図ー1）

1) 居住系区画

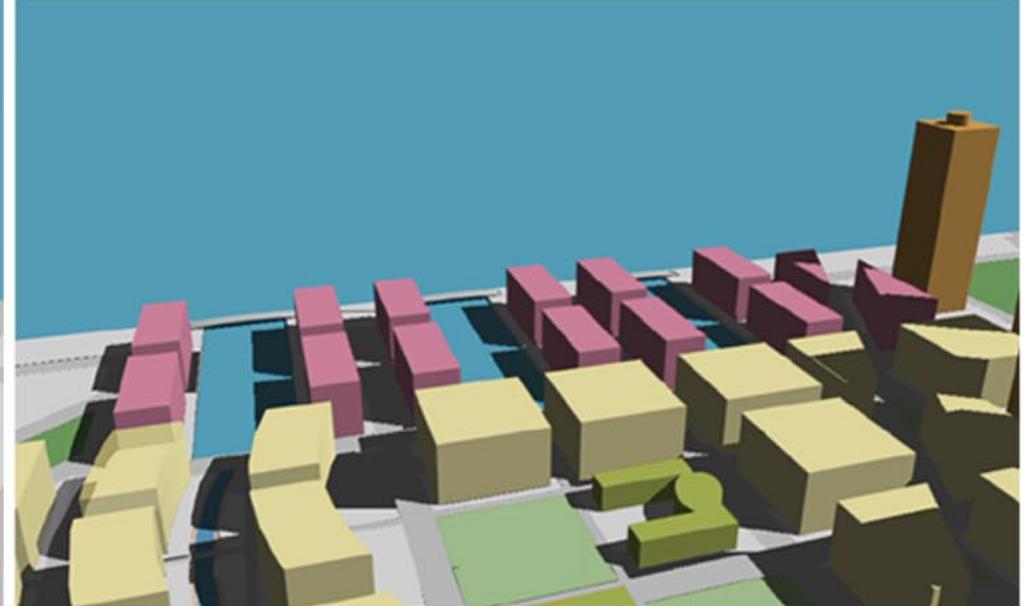
① 超高層住居ゾーン 1：夢洲北東に位置する、地上55階建の超高層集合住宅ゾーン。5棟の超高層住宅が並び、奥に見えているのはヨットハーバーとSOHO型集合住宅。



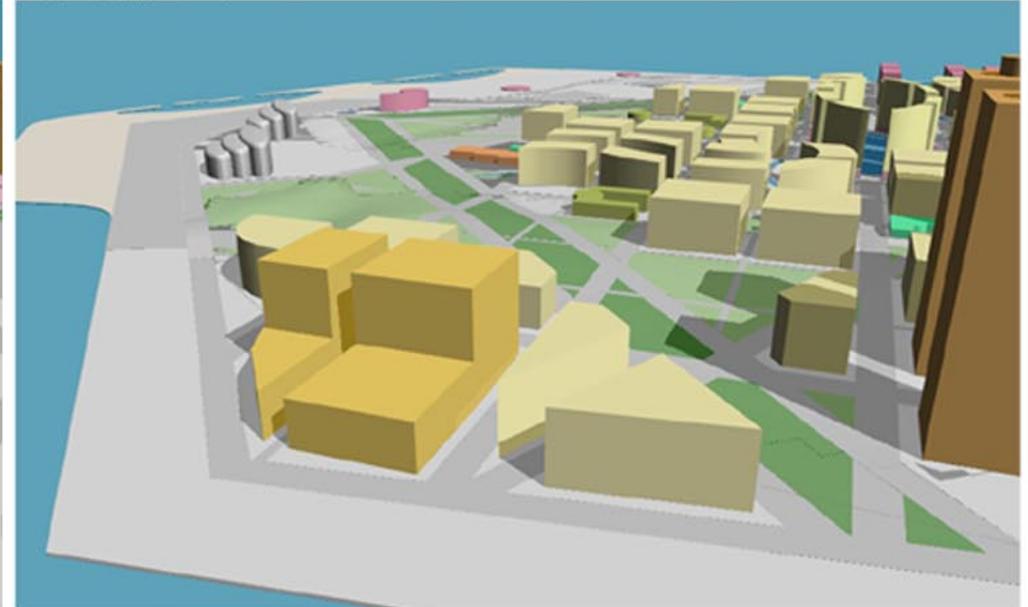
② 超高層住居ゾーン 2：夢洲南東に位置する、地上55階建の超高層集合住宅ゾーン。4棟の超高層住宅が並び、GREEN BARRIER、都市の丘等の緑地に囲まれた立地である。



③ SOHO型住居ゾーン1：SOHO型集合住宅を設置。舞島-夢洲間の安全な運河にヨットハーバーを隣接させ、両島の一体性を演出する。



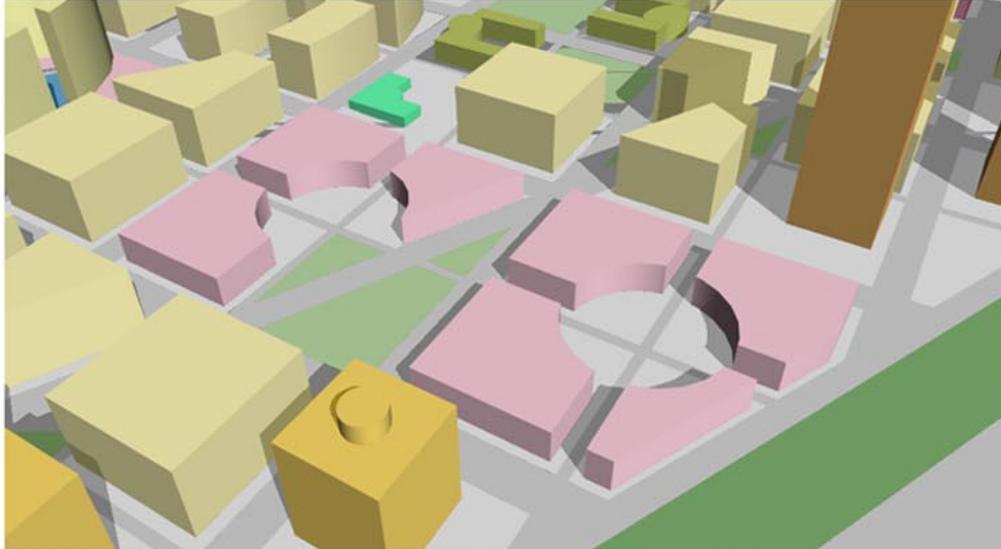
④ SOHO型住居ゾーン2：SOHO型集合住宅を配置。ウォーターフロントに海岸段丘を設置し、生活に密着した親水空間を創出する。



6. ゾーニング図（各ゾーンイメージ図-2）

1) 居住系区画

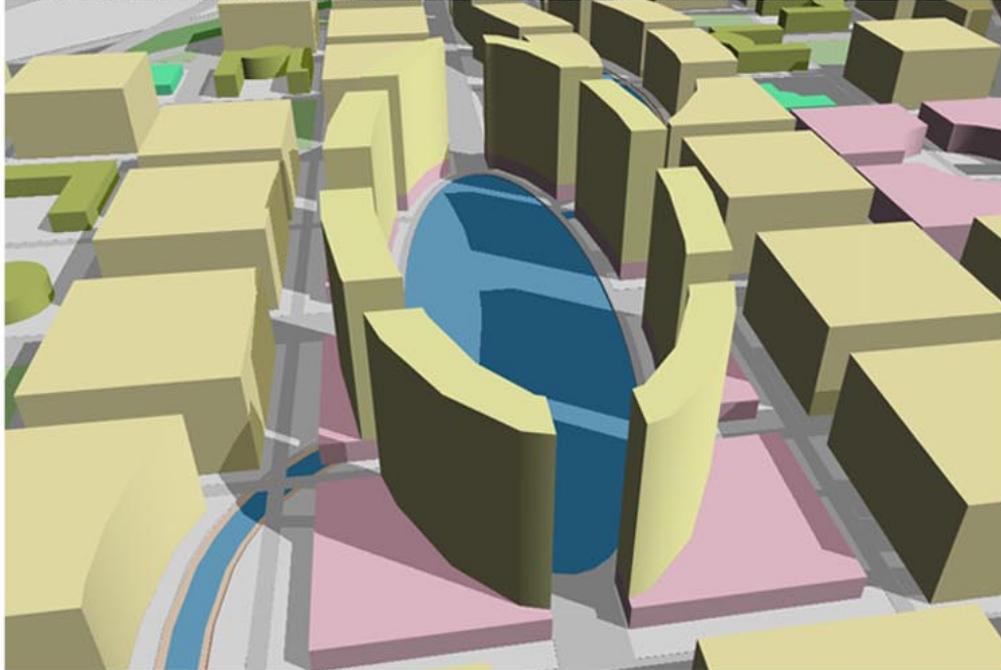
⑤都市核ゾーン1：夢洲駅を中心とした、第一の都市核ゾーン。商業施設の他に、医院、クリニック、集会施設、駐車・駐輪施設を設ける。



⑤高層業務ゾーン：都市核ゾーン1に隣接して高層業務施設を整備する。下図右奥が夢洲駅前商業ゾーン。



⑥都市核ゾーン2：第2の都市核となる夢洲湖を中心とした住商複合ゾーン。夢洲湖にそそぐ“せせらぎ”と川沿いの緑道は、南西端の地区公園（下水処理場）から北側のヨットハーバーへ至る。

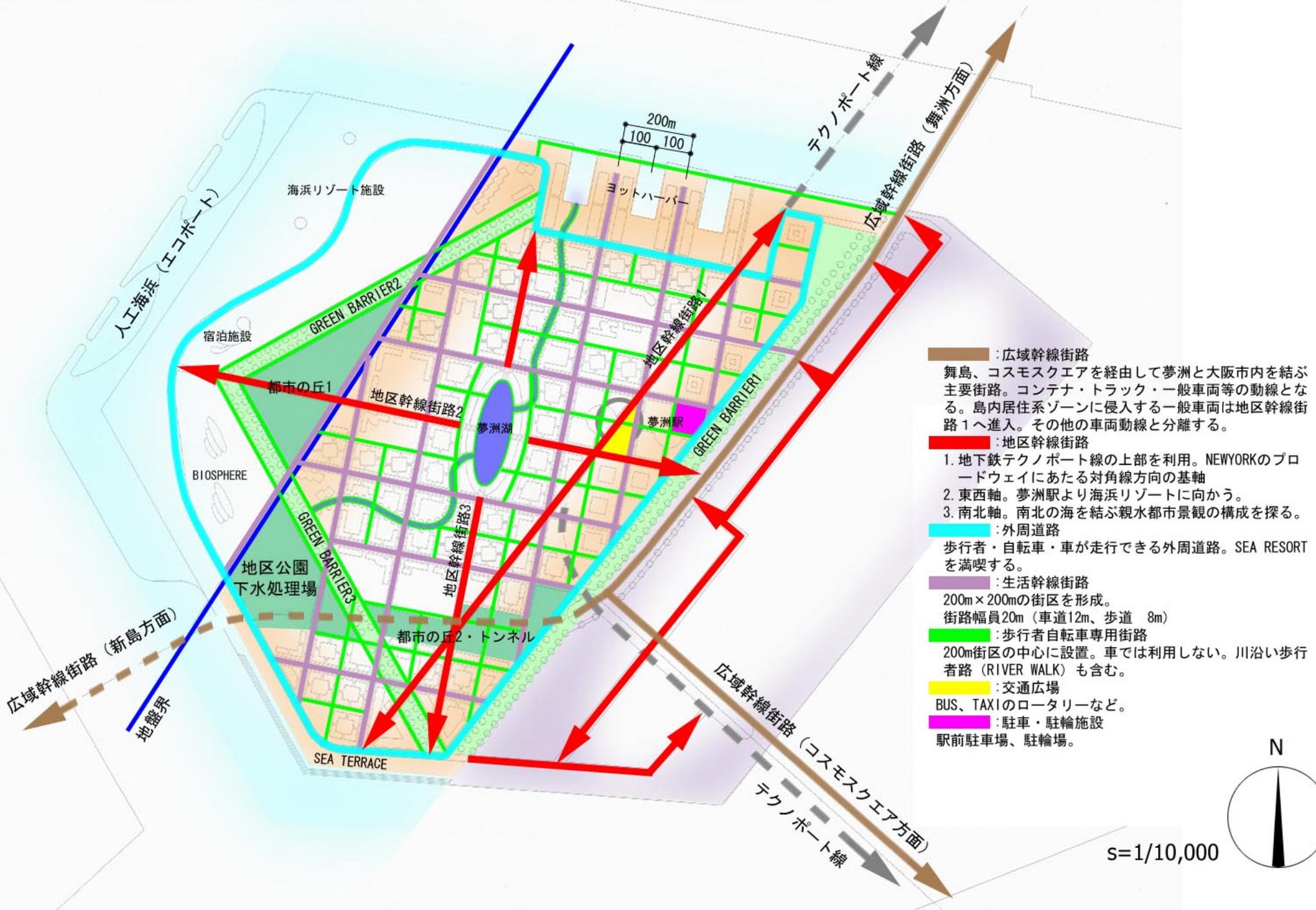


2) 海浜リゾート区画

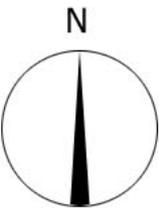
人工海浜（エコポート）等のリゾート資源を生かした自然とリゾートのゾーン。住居ゾーンの北側のヨットハーバー、南側の海岸段丘と連続させることで生活圏を取り囲むサークルとする。



7. 交通ネットワーク図

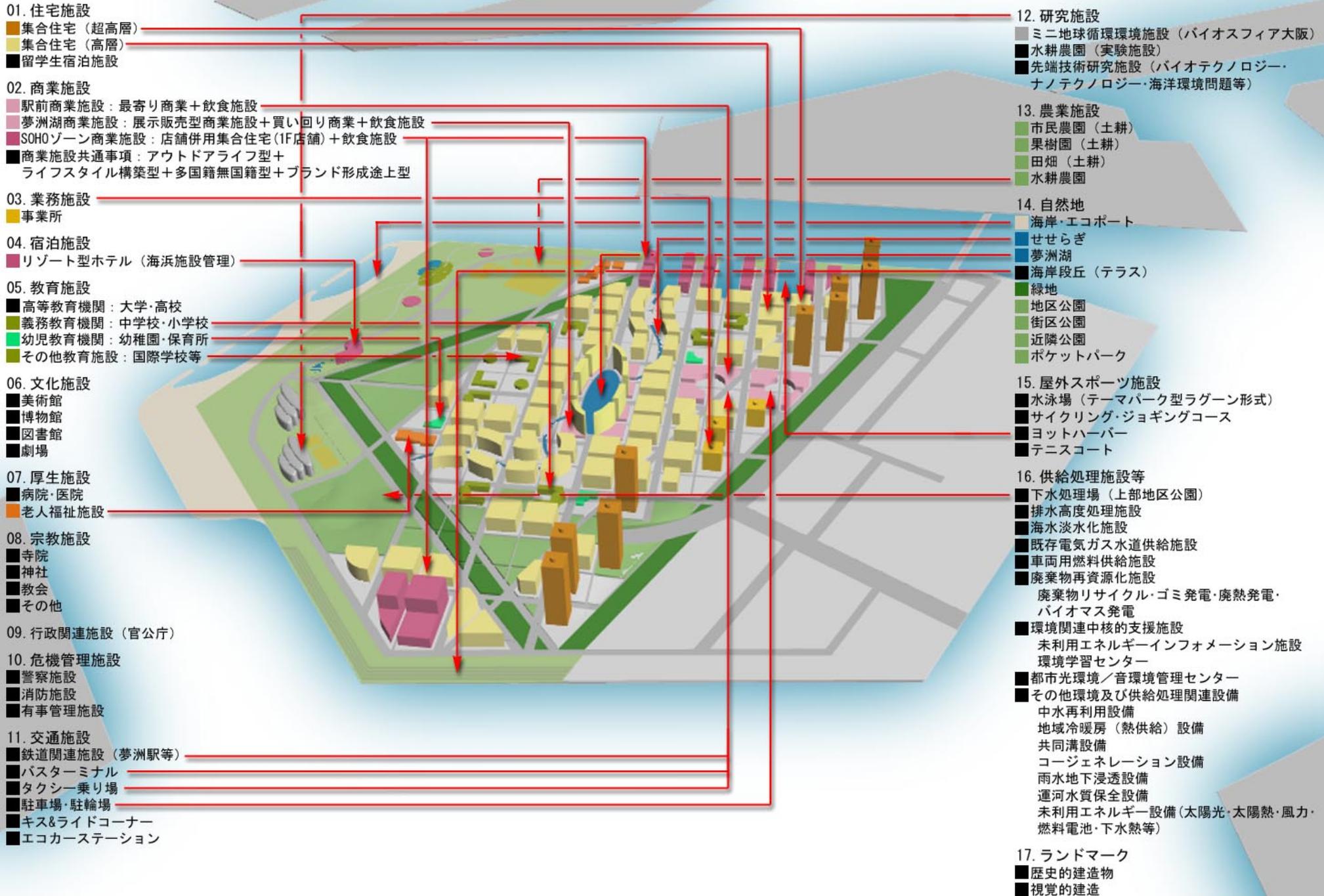


- : 広域幹線街路
舞島、コスモスクエアを經由して夢洲と大阪市内を結ぶ主要街路。コンテナ・トラック・一般車両等の動線となる。島内居住系ゾーンに侵入する一般車両は地区幹線街路1へ進入。その他の車両動線と分離する。
- : 地区幹線街路
1. 地下鉄テクノポート線の上部を利用。NEWYORKのプロードウェイにあたる対角線方向の基軸
2. 東西軸。夢洲駅より海浜リゾートに向かう。
3. 南北軸。南北の海を結ぶ親水都市景観の構成を探る。
- : 外周道路
歩行者・自転車・車が走行できる外周道路。SEA RESORTを満喫する。
- : 生活幹線街路
200m×200mの街区を形成。
街路幅員20m (車道12m、歩道 8m)
- : 歩行者自転車専用街路
200m街区の中心に設置。車では利用しない。川沿い歩行者路 (RIVER WALK) も含む。
- : 交通広場
BUS、TAXIのロータリーなど。
- : 駐車・駐輪施設
駅前駐車場、駐輪場。



s=1/10,000





10. 土地利用計画データ

1) 土地利用面積

各用途の土地利用面積をまとめると下表のようになる。

土地利用		利用面積	面積割合	備考
居住系区画等	居住施設用地	72.3ha	18.4%	集合住宅用地等
	緑地	63.5ha	16.1%	都市公園・都市の丘等
	教育施設用地	20.8ha	5.3%	
	住商複合施設用地	19.9ha	5.1%	
	商業施設用地	6.5ha	1.7%	
	福祉施設用地	4.7ha	1.2%	
	業務施設用地	3.5ha	0.9%	
	交通施設用地	1.0ha	0.3%	バスターミナル等
	小計	192.2ha	48.9%	
海浜リゾート区画等	リゾート施設用地	32.8ha	8.3%	海域約 30ha は含まない
	海岸等用地	25.4ha	6.5%	海域約 30ha は含まない
	研究施設等用地	10.3ha	2.6%	ミニ地球循環環境施設等
	宿泊施設等用地	4.1ha	1.0%	リゾートホテル等
	小計	72.6ha	18.5%	海域約 30ha は含まない
流通施設区画等		118.4ha	30.1%	
幹線道路		10.0ha	2.5%	地下部分は含まない
合計		393.2ha		

2) 常住人口算定根拠

各居住施設の高さ、階数及び戸数は下記のように設定し、1戸当たりの平均人口を3人とした場合、常住人口は次表のように7万人程度となる。

- i) 東側超高層ゾーン集合住宅（5棟）
建物高さ 180m、地上 55 階、住居部分階数 52 階、1フロアあたりの住居数 12 戸とした。
- ii) 南側超高層ゾーン集合住宅（4棟）
建物高さ 180m、地上 55 階、住居部分階数 52 階、1フロアあたりの住居数 12 戸とした。
- iii) 都市核ゾーン 2 住宅商業複合施設（1棟）
建物高さ 70m、地上 20 階、住居部分階数 17 階、1フロアあたりの住居数 100 戸とした。
- iv) SOHO 型住居ゾーン 1 住宅商業複合施設（12棟）
建物高さ 43m、地上 13 階、住居部分階数 12 階、1フロアあたりの住居数 18 戸とした。
- v) SOHO 型住居ゾーン 2 住宅商業複合施設（3棟）
建物高さ 43m、地上 13 階、住居部分階数 10 階、1フロアあたりの住居数 24 戸とした。

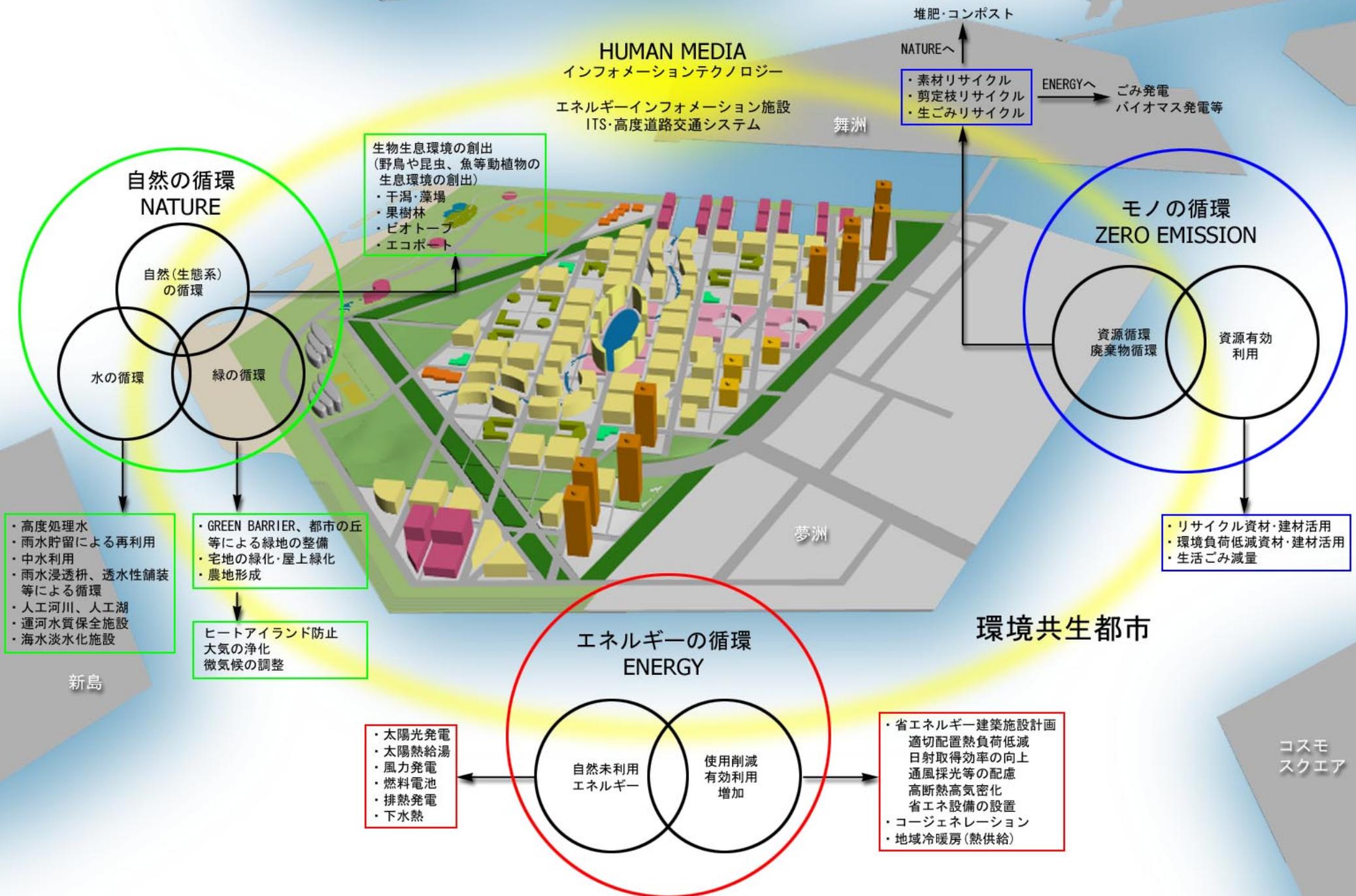
vi) その他

建物高さ 43m、地上 13 階、住宅部分階数 12 階とし 1フロアあたりの住居数は敷地形状よりそれぞれ設定した。

常住人口算定表

	棟数	機能	建物高 (m)	階数	住居階数	1棟1階当り戸数	1棟当り戸数計	一戸平均面積	全棟戸数
①北東側超高層ゾーン	5	超高層住居専用	180	55	52	12	624	90	3,120
②南東側超高層ゾーン	4	超高層住居専用	180	55	52	12	624	90	2,496
③中心部商業施設上部	1	高層住商複合	70	20	17	100	1,700	120	1,700
④北部ヨットハーバー沿い	12	中層住商複合	43	13	12	18	216	120	2,592
⑤南部商業施設上部	3	中層住商複合	43	13	10	24	240	100	720
⑥その他	8	中層住居専用	43	13	12	24	288	100	2,304
	7	中層住居専用	43	13	12	30	360	100	2,520
	17	中層住居専用	43	13	12	26	312	100	5,304
	1	中層住居専用	43	13	12	103	1,236	100	1,236
	1	中層住居専用	43	13	12	120	1,440	100	1,440
合計									23,432
									2

常住人口=23,432 戸×1 戸当たりの平均人口を 3 人=70,296 人





海岸段丘 イメージ

(Battery Park, New York)



SOHO型商業住宅複合施設 イメージ

(Boston)



ヨットライフイメージ

(San Diego)



ラグーン イメージ

(Bali)



夢洲・舞洲 イメージ

(San Diego)



SEA TERRACE イメージ

(Baltimore)



夢洲湖イメージ

(Central Park, New York)



地区公園（排水高度処理施設上部）イメージ (Chicago)



リゾートホテル イメージ

(Disney World, Florida)



護岸 イメージ

(San Diego)



ラグーン イメージ

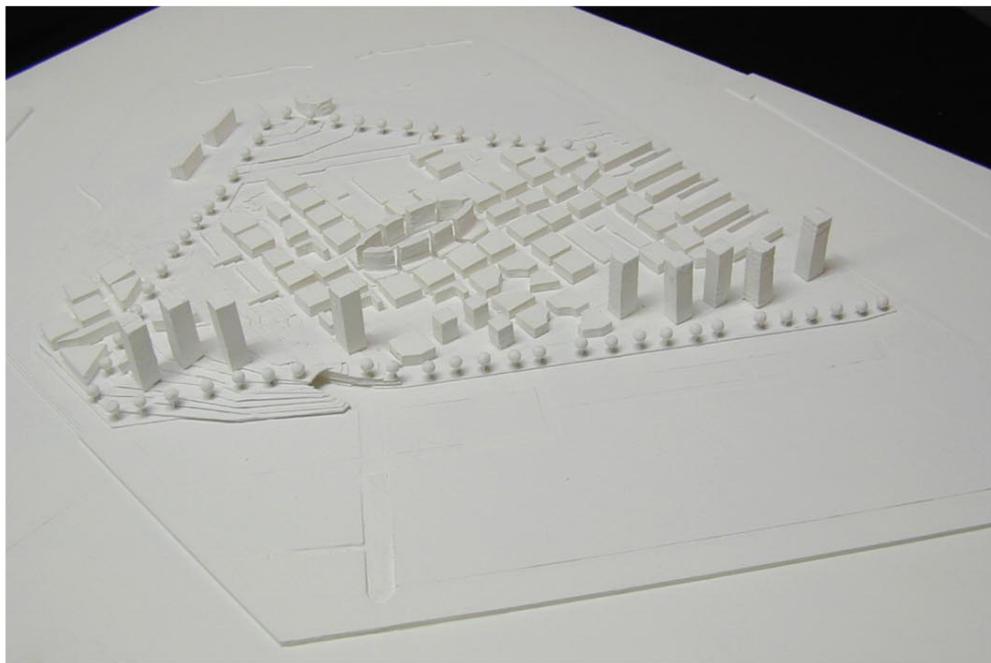
(Bali)



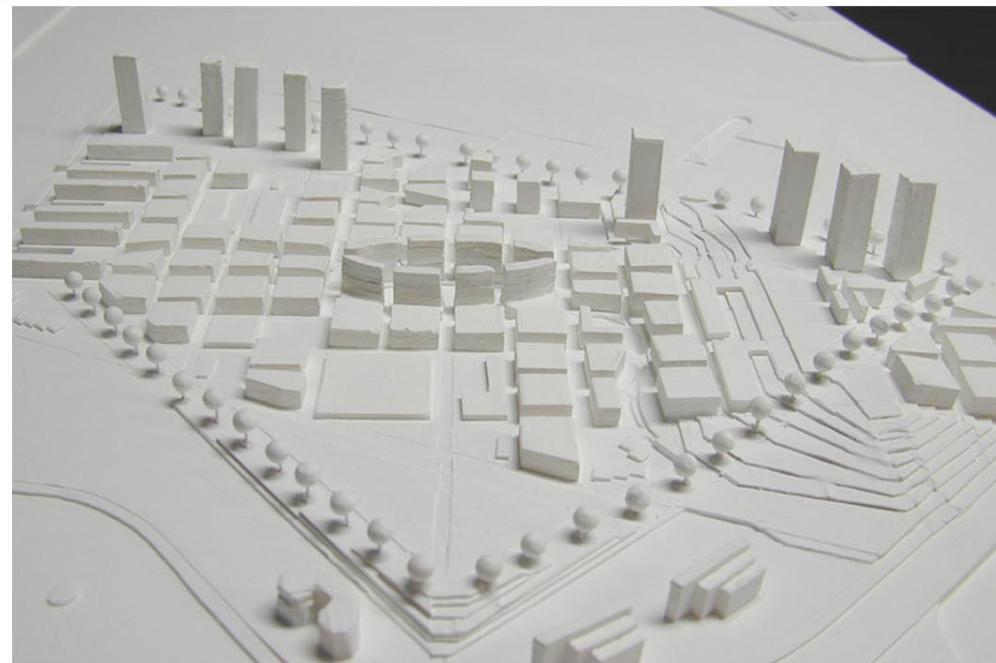
エコポート・ヨットハーバー周辺商業施設 イメージ

(San Diego)

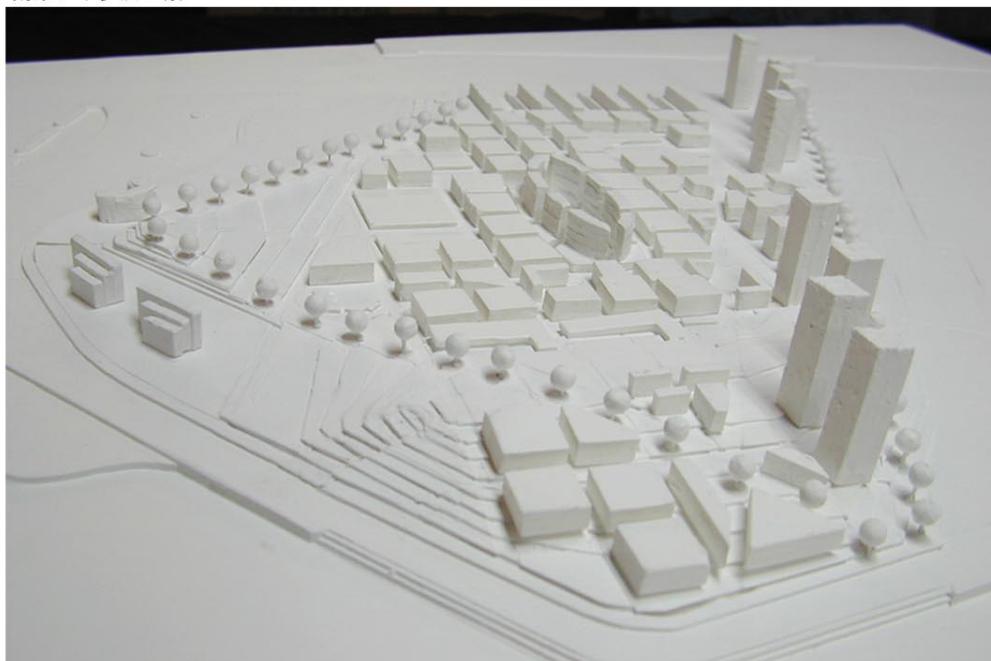




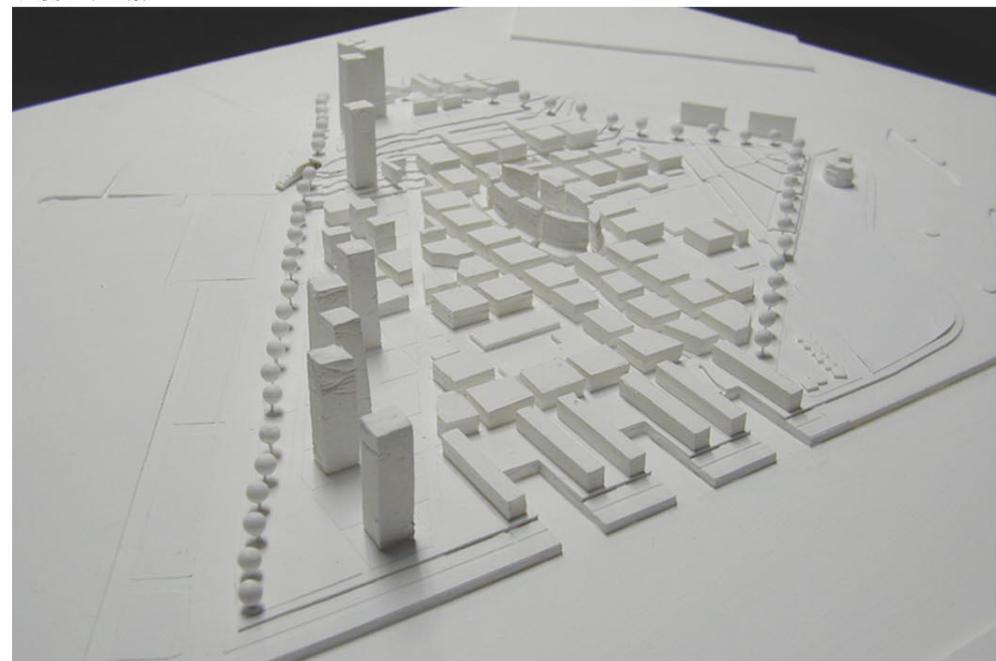
南東より夢洲全景



西側より全景



海岸段丘側より望む



ヨットハーバー側より望む

